



相談室だより

久しぶりに帰省して家族や友人に会ったなど弾んだ声を聞いたのも束の間、再びわたし達は新型コロナウイルスの感染拡大に脅かされています。

●ジェンダー格差の顕在化

令和3年版厚生労働白書では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、非正規雇用を多く占める女性の失業や、高い自死率、自粛生活により家事・育児に費やす時間が増えた等の報告があり、特に女性達の置かれている状況が厳しさを増していることが読み取れます。

世界的にも令和2年国連政策概要「新型コロナウイルスの女性への影響」の中で、既に無償ケア労働の増加報告があるように、感染拡大による休校、休園など、益々女性へのケア役割の期待や責任を加速させ、その背景には、強固な性別役割が潜む社会構造が伺えます。

相談者の中には、育児や介護など無償ケア労働を担う方も少なくなく、新型コロナウイルスの感染拡大を機に、以前から存在していたジェンダー格差が顕在化されたのではないのでしょうか。

●ジェンダー格差なく共に支えあう社会を目指して

新型コロナウイルスの影響により、医療・福祉や保育、公共機関など社会生活に不可欠な仕事に従事するエッセンシャルワーカーによる有償ケア労働の重要性が再認識されるようになりました。一方で、その待遇面や働く環境面の処遇改善等が求められています。

わたしたちの社会は、様々な人との関わりや、ケアの繋がりによって支えられています。有償・無償ケア労働の負担が女性に偏ることのない社会。ひいては、ジェンダー格差のない、共に支えあう社会であるために、わたし達はこれからも相談者の方々と共に考え、情報提供や支援を行っていきます。

ジェンダーとは？

主には社会的、文化的に作られた性別のことを指します。
例えば、「女性なら〇〇するべき」「男性とはこういうもの」といったものの見方や考え方をいいます。

新着図書を紹介



図書情報ステーション

最近の新着図書からお勧めの本を紹介します。貸出中の場合は予約ができます。

詳しくは図書情報ステーションまでお尋ねください。電話0942-30-7801

【開館時間】月曜～土曜日10:00～18:00、日曜日10:00～17:00

【休館日】月の末日、第2・第4木曜日、国民の祝日・休日、年末年始・特別整理期間

わたしは黙らない 性暴力をなくす30の視点

合同出版編集部／編 合同出版 2021.10

「性暴力」について、語ろうとする人の口をふさぎ続けてきたわたしたちの社会。それでも声を上げ、問題を明らかにしようとして闘ってきた人たちがそれぞれの記憶と記録を綴る。コラム、おすすめの本も掲載。



男子という闇 少年をいかに性暴力から守るか

エマ・ブラウン／著 明石書店 2021.11

全米各地で研究者、学校関係者や親子など数百人に聞き取りを行い、男子の性加害・被害実態を調査。男子大学生の22%が入学前に性暴力を振った経験をもつ米国の「男らしさ」の常識に挑み、あるべき性教育を模索する。



もう空気なんて読まない

石川 優実／著 河出書房新社 2021.11

空気を読んで生きてきた私は、自分自身をどこかに失ってしまったような気がする。私たちは、もっと怒っていい。幸せのために。恋愛やセックス、仕事、人間関係。生活と地続きにあるフェミニズムの形を見つめ直す。



●編集・発行●
令和4年3月

久留米市男女平等推進センター

〒830-0037

久留米市諏訪野町1830-6

えーるピア久留米内

TEL. 0942-30-7800

FAX. 0942-30-7811

URL: <https://www.city.kurume.fukuoka.jp>

E-mail: danjo-c@city.kurume.fukuoka.jp



- 徒歩／西鉄久留米駅から約10分（約700m）
- バス／西鉄久留米駅から約5分
JR久留米駅から約20分
「税務署前」下車、徒歩5分
- 駐車場(有料)はございますが、おいでの際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

この広報誌は環境に配慮し、再生紙を使用しています。